

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【まちなか循環バスの新たなルートについて】</p> <p>まちなか循環バスのルートに西階方面を入れることを前提で、お願いしたいことがある。延岡総合文化センターにバスで行きたいが、便がない。まちなか循環バスは延岡総合文化センターに行くが、日曜日は運休で、コンサートなどのイベントは日曜日にあることが多い。延岡総合文化センターまで、安い運賃で行けるよう日曜日にも運行してほしい。</p>	<p>市内にある桜ヶ丘とかの以前の新興団地には、いずれも循環バスは通っていない。当時の現役世代の方々が住んでいて、いずれ免許等の返納を考えなければならない。そういう意味では、循環バスの第2号をどこに走らせるかは、順番等を考えていかなければならない。長寿社会の方向として、バスで暮らせる延岡に変わっていかなければならない。どの地域から整備していくかは、いろいろ順番がある。徐々にテストケースを走らせながら、交通網を構築していく。</p>	<p>まちなか循環バスの新しいルートにつきまして、令和2年度に市街地の北部と南部地域で実証運行に取り組む予定にしており、実証運行の結果を検証し、令和3年度の本格運行へと繋げたいと考えています。</p>
<p>【市道や公共施設の樹木について】</p> <p>道路沿いや公共施設の非常に狭いところにある樹木が大きく育ち、枝切りなどのコストもかかると思う。広い公共施設等では、景観から大きな樹木があってもいいと思う。道路沿いや公共施設等の樹木について、ゼロベースで考えてみてはどうか。</p>	<p>延岡駅裏の歩道を整備した時に、街路樹は撤去してほしいとの要望があった。それは、景観がいいという理由もあったが、大きな理由は落ち葉の掃除等が大変だということだった。地域の皆さんと話し合った結果、街路樹を撤去したケースはある。地域の生活空間で見たときにどうするかというのは、地域の皆さんと話し合って決めていきたい。</p>	<p>街路樹や公園整備の新たな樹木植栽は、地域住民の皆さまのご意見を伺いながら進めてまいります。また、既に植えている街路樹については、樹木を必要と思われる方や、そうでない方など様々なご意見もありますので、市政に対する要望などを通じて、区など地域の皆さまの総意としてのご意見を賜りたいと存じます。</p> <p>なお、街路樹等には景観向上のほか、大規模火災など災害時に樹木の耐火性や熱遮断の特性を利用した延焼遮断帯としての効果もあると言われております。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【南延岡全体の観光地化について】</p> <p>延岡市には、観光地がない。南延岡全体を江戸時代風な街並みにしてはどうかと考えたことがある。市長として観光地をつくることは考えていないのか。</p>	<p>内藤記念館を新しくするため、着工したところである。新しい内藤記念館は、文科省の承認施設ということで、国宝級の美術品や名画も展示できる。こういった施設にすることで、全国の美術品を巡回展できるようになる。内藤記念館の場所は、延岡城の西の丸があったところなので、名前を「延岡城内藤記念館」にしてはどうかとの案ももっている。これは、議会の議決が必要になる。こうしたい理由は、城下町であったことを打ち出していきたい。観光スポットとして育てていきたい。</p> <p>もうひとつは、北大手門まで行く途中に、延岡城を説明するようなインフォメーションセンターのような施設を造ってはどうか考えている。これは、私個人の意見です。こういった施設を連携させることで、城下町延岡を散策できるようになると思う。また、こういった施設から、どう中央通り等まで人の流れをつくるか、施設ができたあとのビジョンを策定して観光地化していこうと考えている。</p> <p>今年は、南部地域の観光資源調査をする予定。土々呂は、捕った魚をすぐ加工できるところで、赤水の方に行けば、ブリ大尽御殿がある。土々呂はかつて海水浴場だったが、水質が悪くなって泳げなくなった。だが、水質もよくなりつつある。海水浴場として利用できるようになれば、新しい観光地になる。</p> <p>3北の道の駅を中心ににぎわいはあるが、それをまちなかや南部の方にもにぎわいができるようにしていきたい。</p> <p>あと、若い子育て世代が、行けるような場所も整備していきたいと思っている。</p>	<p>令和元年度は、南部地域等観光資源調査を、土々呂地区を中心として、区長、飲食店等の皆様の協力を得ながら進めてきました。</p> <p>ブリ御殿をはじめとして、地元地区住民から挙げられた観光素材の紹介や活用方法、このほか、旧土々呂海水浴場の再開設に対する要望も伺ったところ です。</p> <p>この調査に関する最終報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施であるが、収束後に最終報告書を基に協議を行い、南部地域における観光資源の活用、磨き上げを行っていく予定としています。</p> <p>また、延岡城の近くに、旧後藤邸の資材等も活用しながら、古民家風のカフェまたはインフォメーションセンター的な機能をもつ施設の整備を検討したいと考えております。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【子育て支援について】 延岡市には、転勤族がいるが、子育て環境が非常にいいのでそのまま永住して、夫だけ単身赴任させた家庭もある。延岡市は子育て支援がしっかりしている。このことについては認知度が低い。転勤族である家庭の奥様は、スキルを持った人が多い。子育てしながら、柔軟に働ける場所があれば、いいと思う。</p>	<p>移住していただけるくらい延岡市のことが気に入っていただくのはありがたい。自然が豊かで、子育て環境もよく、食べ物もおいしいなど安心できる、人情のあるまち。それに加えて、4月からは、中学生まで歯科医療費が350円ということにした。来年は、小学生6年生までだが、医療費を350円にする予定である。より一層子育てをしやすいまちにして行こうと考えている。 教育分野でも、パソコン等の導入もしっかりとやっている。新たな取り組みとして、STEM教育というものがあり、遊び感覚で技術家庭的なものを学べるような教育もやっていく。子育て支援及び教育を他の自治体ではできないことをやっていきたい。</p>	<p>医療費の助成については、昨年度から歯科医療費を中学3年生まで350円にしたことに引き続き、本年4月から小児科、外科、内科等の外来分について、小学6年生まで350円とした。令和3年4月からは、中学3年生まで拡大する予定である。 STEM教育については、コロナの影響で実施が遅れていたが、令和2年11～12月にかけてSTEM教室、データサイエンス教室を令和3年2月頃にプログラミング教室実施予定です。併せて、総務省の地域おこし協力隊事業を活用して、STEM教育の指導者の確保を進めています。 また、これまで首都圏のIT企業等も新たに立地している上、駅西口に(株)まちづくり延岡が整備中のビルにIT企業を誘致する等に取り組んでおり、市外から来られた女性の方々の活躍の場となるよう取り組む考えです。</p>
<p>【まちづくり活動支援事業について】 佐伯市の知り合いの女性が、子育てのイベント「子連れ100人会議」を開催している。これを延岡市で開催したい。まちづくり活動支援事業に応募しようとしている。</p>	<p>まちづくり活動支援事業など利用できるものがあれば、ぜひ利用していただきたい。</p>	<p>本市では、市民主体によるまちづくりを推進するため、毎年、市民まちづくり活動支援事業を実施しています。この事業は、広く市民活動団体等から新たなまちづくり事業を公募し、検討会議での検討を経て決定された事業に対して補助金を交付するものです。 なお、開催を考えられている事業が採択されるためには、申請や事業内容、補助対象経費などの面で条件がありますので、一度、経営政策課までご相談ください。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【飲食店の情報発信について】                      県外から帰ってきた。延岡の人の温かさなど大好きである。食べ物のレベルが高いことを、地域の人が気づいていない。美味しいお店なども、スマホで検索すれば、出てくるが、スマホをもっていない人にも、市として情報発信してほしい。</p>	<p>地域の方々が地域の良さを伝えることは、スマホだけでなく良さを伝える努力をしてしていかなければいけないと思う。最近取り組んでいることは、ふるさと学習で延岡こんなに素晴らしいと調べたうえで、東京などで故郷延岡をPRしたりすることで、延岡の良さを誇りに思いながら、成長してもらうことも取り組んでいる。大人にも同様に故郷に誇りを持ってもらうように、取り組んでいかないとけない。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、テイクアウトやデリバリーサービスのニーズが高まっていることから、令和2年度5月補正予算「感染防止のためのテイクアウト店舗PR支援事業」にてテイクアウトやデリバリーサービスに取り組む飲食店の皆様を幅広い年代の方にお伝えするため、地元夕刊新聞へ広告を3回掲載しました。（5月2日、28日、8月12日）                      また、テイクアウトやデリバリーなどの「中食」を通じた、本市の飲食店支援及び地域発展を連携協力して進めることを目的にテイクアプリ「クリックディッシュ」などを運営し、テイクアウトやデリバリーサービスなどのいわゆる「中食」事業を展開する株式会社シークリーと8月17日に連携協定を締結し、今後、アプリの活用やフードトラックを活用した取り組みを展開していく予定です。                      その他では、大分県佐伯市と県境を越えて連携している「東九州バス化構想」において両市の豊かな食を広く紹介するため、都市圏でのPRや市内での食のイベント、食のまちづくりに取り組まれている料理人等を招いてのセミナーなどを開催しております。                      そのような中、既にスマホ等でお店が検索できるようにしているほか、本年度両市の食材や食文化にスポットを当てたガイドブックの制作を予定しており、それらを活用しPRに努めてまいります。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【市道の車線について】 道路の車線が消えかかっているところが多い。車で、どこを走っていいかわからないところがある。母世代になると、車の運転は大丈夫だろうかと不安になる。車線については、早く直してほしい。</p>	<p>市道の白線や沿道の草刈など、今年予算を増やしたところである。危険なところを早く処置できるようにした。今年予算をどんな結果になったのか等見ながら、来年の処置を考えていきたい。着実に改善されるように取り組んでいく。</p>	<p>道路の区画線については、市内各地より多数の要望が挙がっているため、交通量や道路状況等を勘案し、緊急性の高い箇所から年次的に引き直しを行っています。</p>
<p>【子育て施設について】 子育てについては、雨の日に子どもを連れて行く所がないので、早く子育て施設ができればと思う。</p>	<p>雨の日に、子どもを連れて行くところがないということは、非常に感じている。また、以前のこどもモールの会社経営していた時代から、非常にニーズは高いと感じている。今年度、ヘルストピアの中で、イベントものだが「大人も子供も楽しめる場所」をやろうとしている。その数字とか評価等を踏まえて、しっかり中身をつくりながら、今後検討していきたいと考えている。</p>	<p>ヘルストピアキッズランド ヘルストピア延岡2階に、子どもと保護者が楽しめる空間として導入しました。知育玩具などの様々なおもちゃを設置してまいります。令和元年7月20日から実施。 令和2年度も実施しています。利用実績をみながら、適切な配置場所、おもちゃの内容などを検討していきます。 【令和元年度利用者数】 ※（）内は実働日数 令和元年7/20～9/2（42日） 4,652人 令和元年12/25～令和2年3/1（41日） 1,442人</p>